

## TSH 抑制療法における FT4 の目標値の検討

◎黒島 眞太郎<sup>1)</sup>、滝口 友理子<sup>1)</sup>、川西 なみ紀<sup>1)</sup>  
JR 広島病院<sup>1)</sup>

【はじめに】甲状腺濾胞細胞は、TSH の刺激を受けて成長が促進され、甲状腺分化癌もその性質を有した TSH 依存性腫瘍である。TSH 抑制療法は、甲状腺ホルモン薬（チラーゼン S<sup>®</sup>）を十分量投与し FT4 を上昇させ、ネガティブフィードバック機構を介して TSH 分泌機能を抑制し、癌の増殖を抑えて再発を予防する方法である。しかし、FT4 の目標値に明確な基準は定められていない。そこで今回、TSH 抑制療法における FT4 の目標値を検討したので報告する。

【方法】当院甲状腺外来を 2017 年 1 月から 2018 年 12 月に受診した患者で、TSH 抑制療法のためにチラーゼン S<sup>®</sup>を処方され、TSH と FT4 を同時測定した患者 130 名(測定件数 778 件、男：女比=2：5)を対象とした。TSH 値 1.000( $\mu$  IU/mL:以後省略)未満を抑制良好とし、1.000 以上を抑制不良と定義した。FT4 値で群分けを行い、その群の n 数と抑制良好件数で各群の抑制率を求めた。更に統計解析は R version 3.5.1 を使用し、ROC 曲線からカットオフ値と曲線化面積 (AUC) を求めた。測定装置は cobas e601、試薬はエクルーシス<sup>®</sup>試薬 FT4Ⅲ及びエクルーシス試薬

<sup>®</sup>TSH(全て Roche 社)を使用した。

【結果】FT4 値 2.10(ng/dL:以後省略)以上で抑制率 100%、FT4 値 2.10-1.80 で抑制率 96.3-92.5%、FT4 値 1.80-1.70 で抑制率 85.3%、FT4 値 1.70-1.60 で抑制率 78.6%、FT4 値 1.60-1.50 で抑制率 67.6%、FT4 値 1.50-1.40 で抑制率 67.1%、FT4 値 1.40-1.00 で抑制率 55.4-22.2%、FT4 値 1.00 未満で抑制率 7.7%となった。また、ROC 曲線より得られた FT4 値のカットオフ値は 1.58 (感度 71%、特異度 76%) となり、AUC は 0.818 となった。

【考察・まとめ】TSH 抑制療法は、甲状腺癌の再発を防止する効果があるが、過度な TSH の抑制は骨・循環器への副作用のリスクも指摘されており、専門家の間でも賛否両論ある。TSH 抑制療法を行う場合は、再発リスクが高いなどの TSH を厳格に抑制すべき症例を除き、ROC 解析で求めた FT4 の cut off 値 1.58 を目標値として提案可能と考える。

【謝辞】統計処理にご協力いただいた川崎医療福祉大学 片岡浩巳先生と中原貴子先生に謝辞申し上げます。

(082-262-1444)